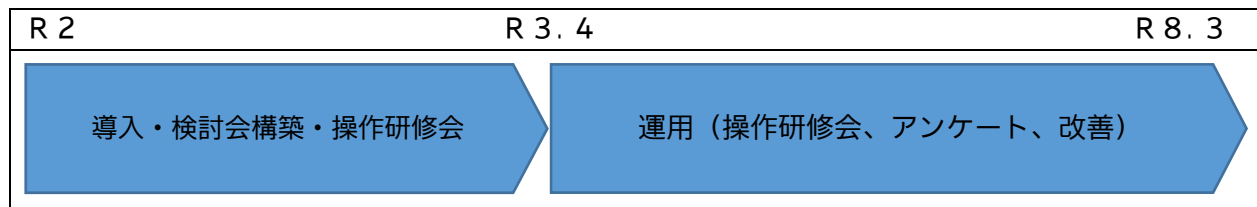


統合型校務支援システムについて

- 1 事業名 小・中学校教育の情報化推進事業（統合型校務支援システム整備）
- 2 所属部・課 学校教育部・教育研修センター
- 3 事業の目的 小・中・義務教育学校に統合型校務支援システムを導入し、デジタル化により校務の処理効率を高め、教職員の事務負担の軽減と児童生徒に向き合う時間の一層の充実を図る。
- 4 事業概要 小・中・義務教育学校に、県教育委員会が推奨する統合型校務支援システム「デジタル校務」（内田洋行株式会社）を導入し、教職員の業務効率化等を図る。

- 5 スケジュール 令和2年7月から令和8年3月まで



- 6 予算額 債務負担行為（令和2年度～令和7年度）
一般財源（5年総額）：210,280千円

- 7 進捗状況
- 令和2年12月25日 入札
 - 令和3年1月 システム準備
 - 令和3年2～3月 説明会・研修会
 - ・管理職対象 2月24・25日
 - ・教務主任対象 3月3・4日
 - ・養護教諭対象 3月9・10日
 - 令和3年3月1日～ 各学校における研修（研修動画を活用）
 - 令和3年4月1日 運用開始
 - 令和3年5月11日～ 操作研修会
 - ・通知票作成 5月11日
 - ・養護教諭対象 6月30日
 - ・指導要録作成 10月4日
 - 令和3年5月～ 小学校の各教室のネットワーク整備
 - 令和3年6月7日～ 通知票作成研修
 - ・希望者（3日間）6月7・16・21日
 - 令和3年6月14日 システムバージョンアップ①
 - ・健康観察一覧表や保健日誌等
 - 令和3年9月～ 養護教諭部会によるアンケート
 - 令和3年9月26日 システムバージョンアップ②
 - ・学校日誌や保健日誌、通知票等

○令和3年11月～	第1回デジタル校務に関するアンケート
○令和3年11月24日	システムバージョンアップ③ ・調査書や保健日誌等
○令和3年12月～	アンケート等による要望に関する改善
○令和4年 2月19日	システムバージョンアップ④ ・指導要録や通知票等
○令和4年 3月 4日	第2回デジタル校務に関するアンケート
○令和4年 3月 7日～	年次更新作業オンラインサポート ・希望者（6日間）※3/7・8・16・17・24・25
○令和4年 3月18日	運用ルール（第2版）通知（予定）
○令和4年 4月 1日	GIGA スクール運営支援センター設置
○令和4年 5月11日	操作研修会 ・市外からの転入管理職、新任教務主任、希望者対象
○令和4年 7月～	公簿委員会（教頭会）によるアンケート
○令和4年 8月～	中教研養護教諭部会によるアンケート
○令和4年 8月10日	システムバージョンアップ⑤ ・ホーム画面や通知票、指導要録等
○令和4年 9月 8日	事務職員代表者による研修
○令和4年 9月～	第3回デジタル校務に関するアンケート
○令和4年10月31日	外字利用に向けた調査
○令和4年11月 9日	校長会議でアンケートや今後の日程等周知
○令和4年11月10日	保健関係の校務支援システム改善点に関する打合せ ・学校管理課、学校保健会養護教諭部会校務支援担当
○令和4年11月28日	公簿委員会 ・学校日誌、運用ルール等の検討
○令和5年 2月 8日	第4回デジタル校務に関するアンケート
○令和5年 2月11日	システムバージョンアップ⑥ ・新規外字の追加、受診勧告書に関する修正
○令和5年 3月10日～	年次更新作業オンラインサポート ・希望者（3日間）※3/10・16・24

8 改善に向けた取り組み

① システム開発業者との定例会の実施

月1回1時間程度のシステム開発業者との定例会を実施し、システムの各学校からの要望を協議・検討・改善を図る。また、ヘルプデスクで対応した案件の報告を受ける。

② 公簿委員会による取り組み

公簿（学校日誌）の様式や運用ルールについて、教頭会へのアンケートを依頼、集約し、システム開発業者との定例会で学校日誌等の様式の改善を図る。

③ アンケートによる取り組み

教職員へのアンケートや養護教諭部会からのアンケートを集約し、定例会で各種機能のシステムの改善を図る。

④ DX 推進検討会

学校教育部の各課のDX担当者が集まり、月2回の検討会を実施することを通して、運用ルール等の見直しを検討する。

⑤ 年度末年度始めの設定研修会

年度末年度始めに関わる人事異動での教職員の設定やクラス編制等の研修会を通して、スムーズに管理・運営できるようサポートする。

9 サポート体制について

① ICT 支援員によるシステムのサポート

② システム開発業者のヘルプデスクからのサポート

令和3年度は943件、令和4年度2月現在は436件の対応

③ GIGA スクール運営支援センターからのサポート（デジタル校務に関しての案件のみ）

・令和3年度は、総数5,674件に対して180件の対応（3.2%）

・令和4年度2月末現在は、総数9,112件に対して141件の対応（1.5%）

※令和4年度よりGIGAスクール運営支援センターの拡充

10 次年度（令和5年度）の予定

① 令和5年 4月 1日 学校日誌のレイアウト修正

② 令和5年 4月 3日 ICT 支援員を全校に配置予定

③ 令和5年 5月11日 デジタル校務研修会（新任転入管理職・新任教務主任対象）

※ 毎月のシステム開発業者との定例会を実施する。

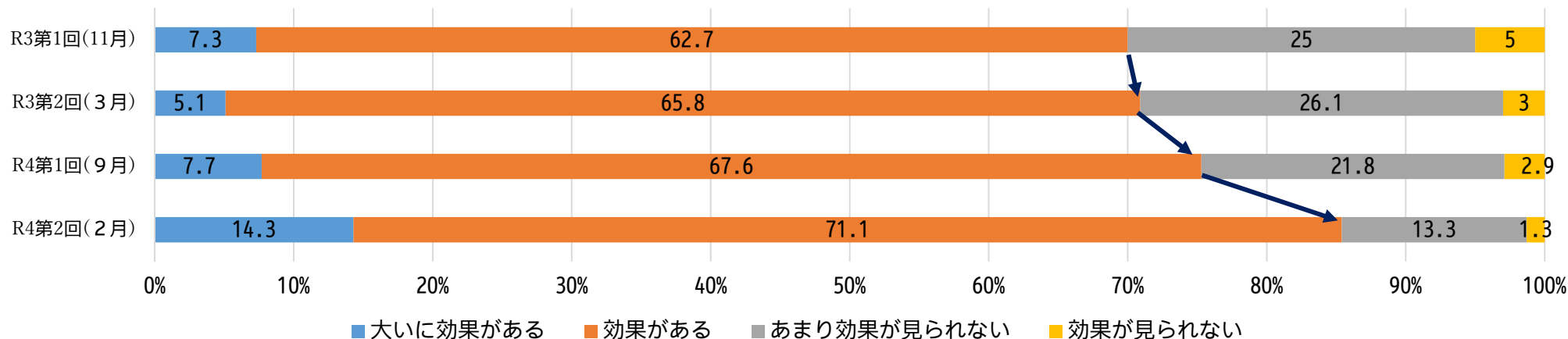
参考資料

令和3年度より運用開始となった統合型校務支援システムに係るアンケート調査（4回分）結果（概要）

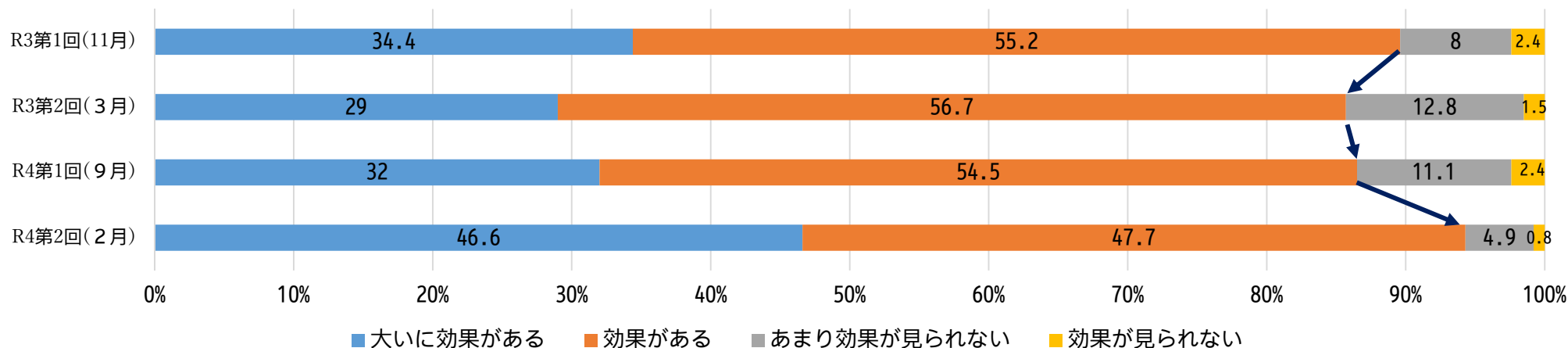
R3第1回回答者数：1,552名
R3第2回回答者数：1,480名
R4第1回回答者数：1,252名
R4第2回回答者数：1,350名

令和5年3月定例会
常任委員会資料
（学校教育部）

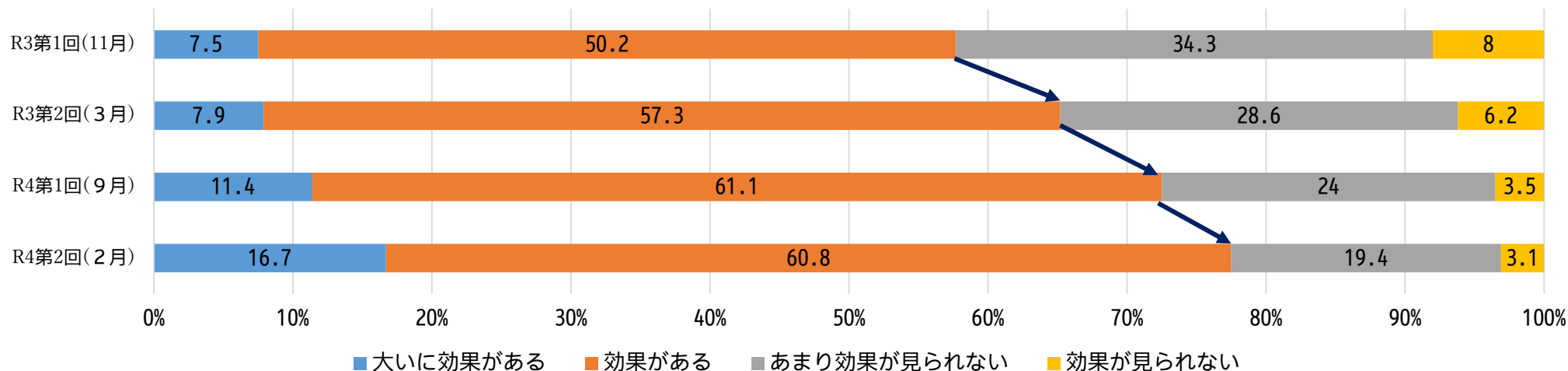
「児童・生徒」機能に係る校務は、統合型校務支援システム運用前（または前回調査）と比較して、業務時間の短縮に効果が見られましたか。



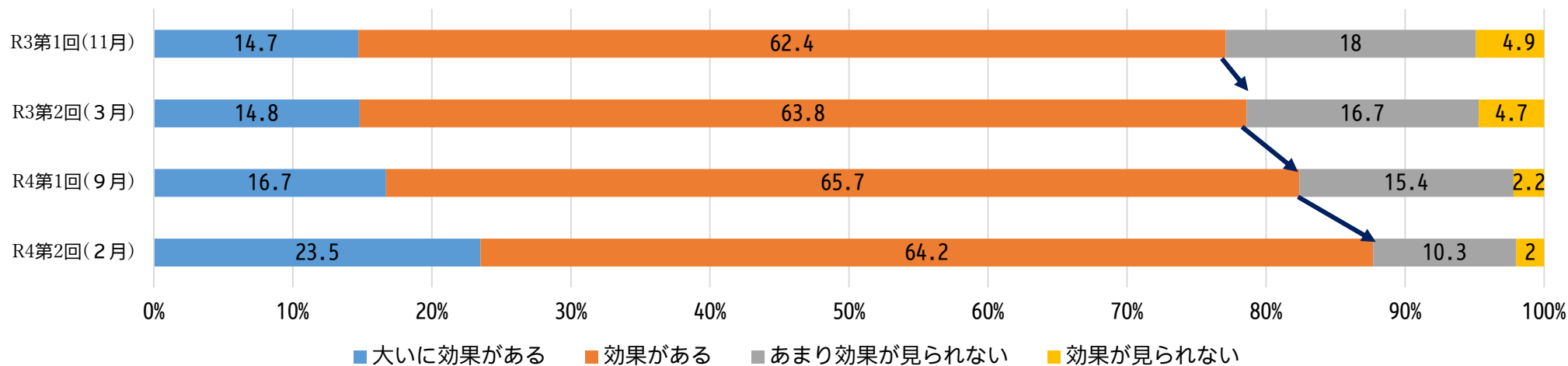
「出欠」機能に係る校務は、統合型校務支援システム運用前（または前回調査）と比較して、業務時間の短縮に効果が見られましたか。



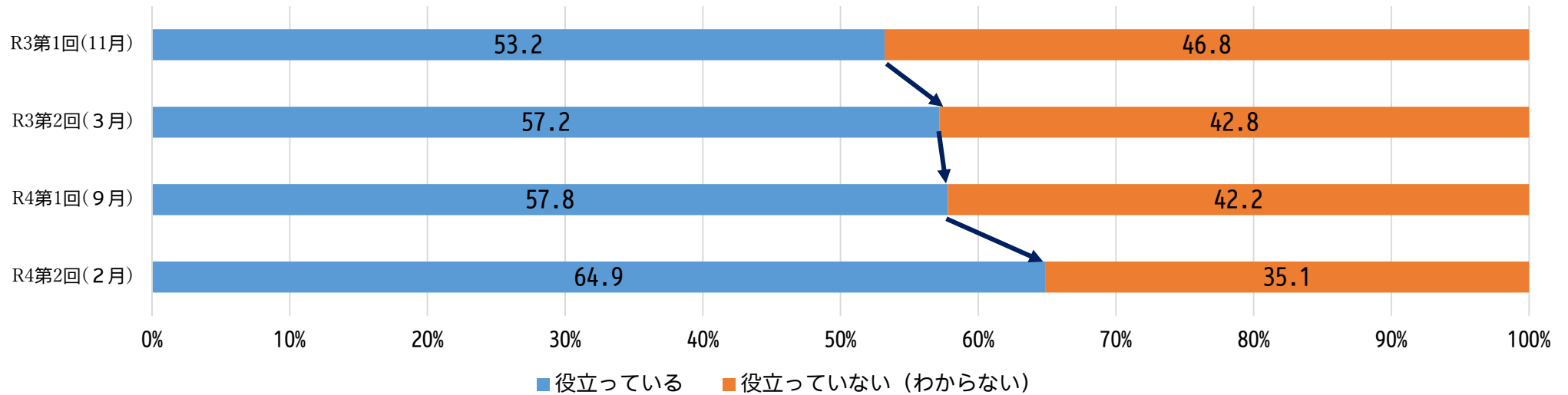
「成績」機能に係る校務は、統合型校務支援システム運用前（または前回調査）と比較して、業務時間の短縮に効果が見られましたか。



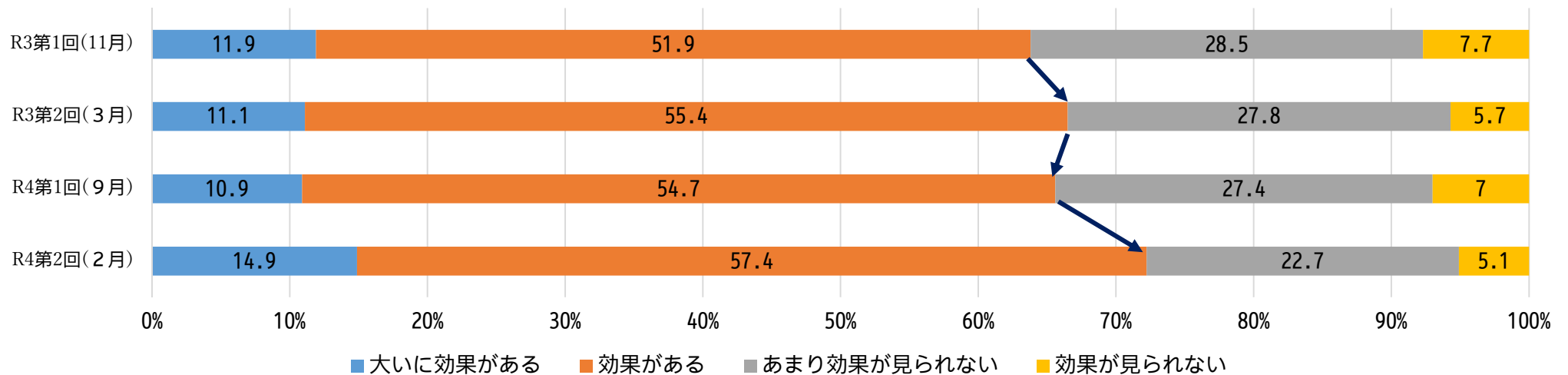
「保健」機能に係る校務は、統合型校務支援システム運用前（または前回調査）と比較して、業務時間の短縮に効果が見られましたか。



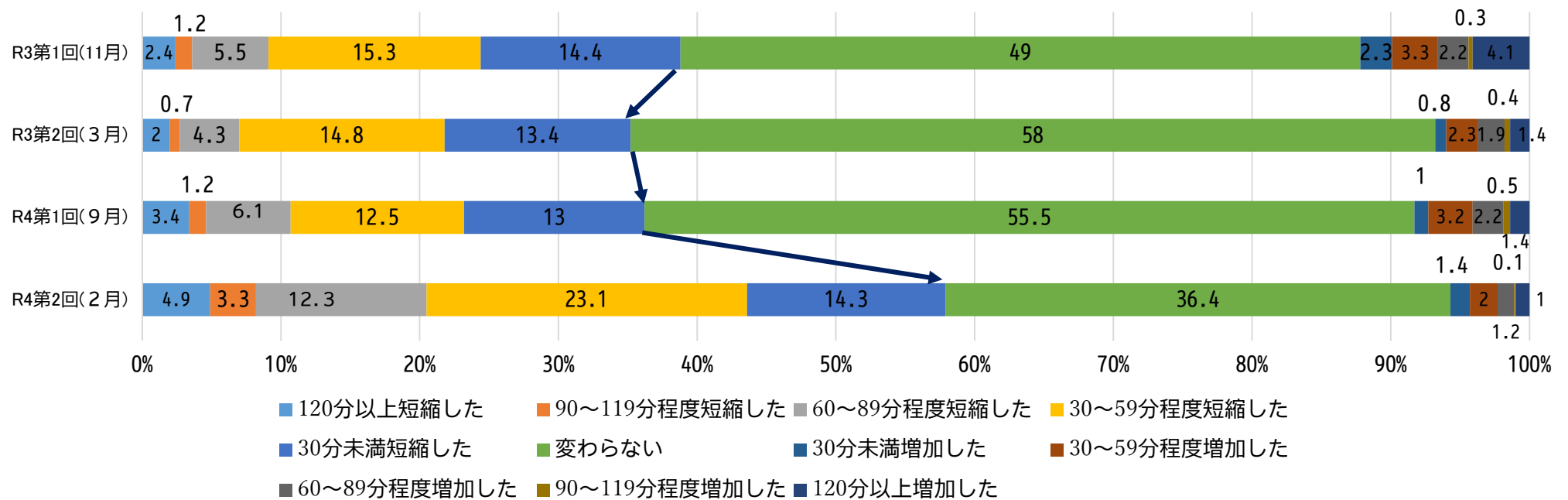
統合型校務支援システムの「出退勤記録」機能は、業務時間の短縮に役立っていますか。



「メール」機能に係る校務は、統合型校務支援システム運用前（または前回調査）と比較して、業務時間の短縮に効果が見られましたか。



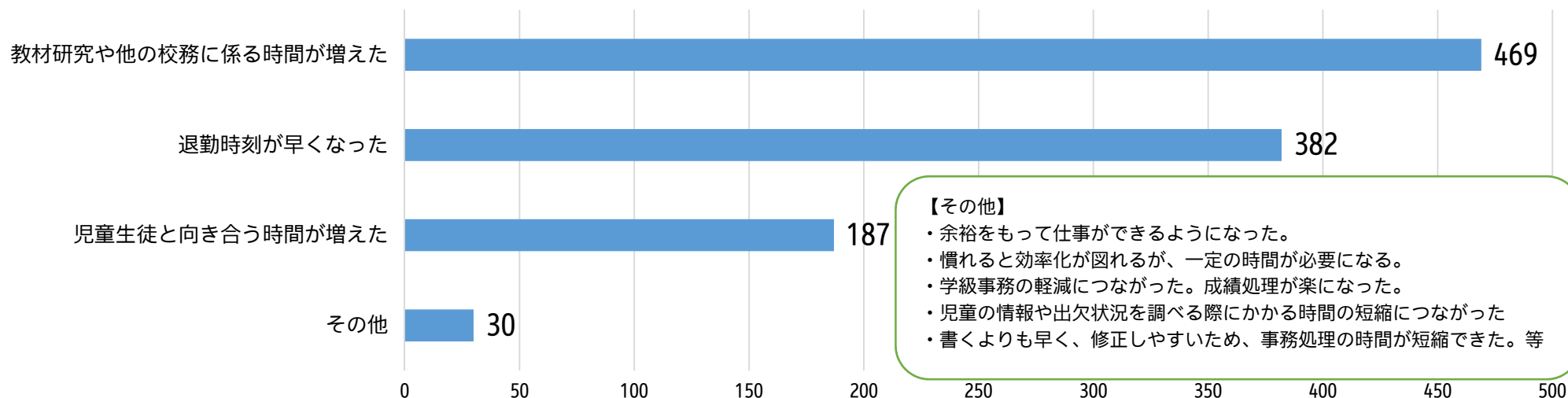
昨年度より運用開始となった統合型校務支援システムにより、統合型校務支援システム運用前（または前回調査）と比較して、およそ1ヶ月あたりの業務時間にどのような変化が見られましたか。



システムに対する全体的な評価



昨年度より運用開始となった統合型校務支援システムの運用により、業務時間の短縮が見られたと回答した方にお聞きします。
業務時間の短縮によってどのような効果が見られましたか。



【統合型校務支援システムの運用における成果】

- 成績機能の通知票や指導要録作成や出欠機能の月末の出席簿作成等が、システム運用前よりも校務の効率化が図られている。
- システムの機能を効果的に各学校で活用している。(気づきや掲示板の機能・学校日誌と週報、月報の連携)
- システムの全体の評価として、過半数の教職員が良いと回答している。
- 「はぐくむ」や「気づき」の機能を活用し、児童生徒の一人一人の情報の共有がしやすく、学習指導や生徒指導に生かすことができている。
- システムの定期的な改善により、以前よりも使いやすくなってきている。
- 様々な不具合などにも、サポート体制が確立しているため、すぐに対応できる。
- 教材研究や他の校務に係る時間、児童生徒と向き合う時間が増えたと回答した教職員の割合は高く、効果が見られる。

【統合型校務支援システムの運用における課題】

- 統合型校務支援システムの各種機能について、慣れるのに時間がかかる。
- 統合型校務支援システムで作成する帳票について、県全体で統一が図れると、なお使いやすくなる。
- 各学校では、職員全員がシステムの操作方法を習得する校内研修を実施する必要がある。特に初めてシステムを操作する教職員への研修の充実に努める。

参考資料

令和4年度 郡山市立学校教職員の長時間勤務状況（校種別）

小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R3年度	45.3	36.3	42.6	28.9	11.4	36.7	39.1	35.9	31.3	25.9	33.2		33.3
R4年度	42.0	38.5	41.8	27.8	10.4	35.3	36.1	35.0	29.6	27.8	33.4		32.5
差	-3.3	2.2	-0.8	-1.1	-1.0	-1.4	-3.0	-0.9	-1.7	1.9	0.2		-0.8

※ 令和3年度及び令和4年度は、小学校に在籍する教職員（統合型校務支援システムによる集計）

中学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R3年度	48.1	41.6	45.5	33.3	12.7	34.3	41.9	40.0	35.4	28.6	34.0		35.9
R4年度	41.1	38.6	45.5	33.2	13.2	37.5	39.6	36.7	33.6	30.7	36.8		35.1
差	-7.0	-3.0	0.0	-0.1	0.5	3.2	-2.3	-3.3	-1.8	2.1	2.8		-0.8

※ 令和3年度及び令和4年度は、中学校に在籍する教職員（統合型校務支援システムによる集計）

義務教育学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R3年度	50.2	46.6	47.1	29.1	13.1	37.9	47.8	38.8	35.1	26.9	32.1		36.8
R4年度	41.9	39.9	46.3	32.2	11.6	39.0	43.8	37.3	29.9	28.1	36.5		35.1
差	-8.3	-6.7	-0.8	3.1	-1.5	1.1	-4.0	-1.5	-5.2	1.2	4.4		-1.7

※ 令和3年度及び令和4年度は、義務教育学校に在籍する教職員（統合型校務支援システムによる集計）

参考資料

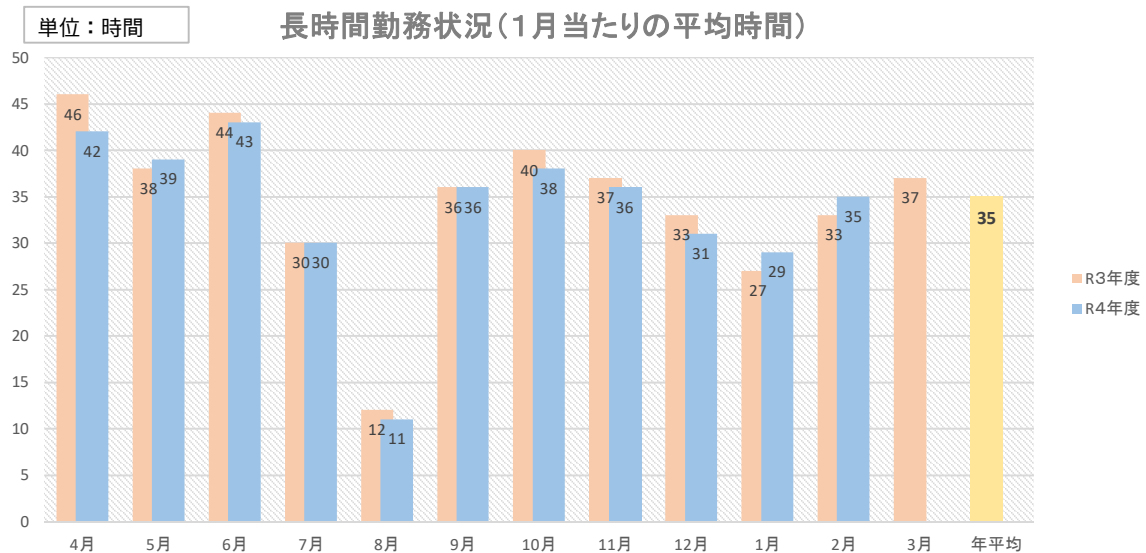
令和5年3月定例会
常任委員会資料
(学校教育部)

令和4年度 郡山市立学校教職員の長時間勤務状況(1月当たりの平均時間)

全校種

全校	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	4~2月平均
R3年度	46	38	44	30	12	36	40	37	33	27	33	37	35	34.2
R4年度	42	39	43	30	11	36	38	36	31	29	35			33.6

単位：時間



＜考察＞

- ・令和4年度の4月と6月、8月は、令和3年度に比べて長時間勤務時間が減少しました。統合型校務支援システムの操作に慣れ、部活動等のあり方に関する指針の徹底が図られたためと考えられます。
- ・4月は、統合型校務支援システムの理解と操作に慣れたものの、他地区からの転入教職員の校務に順応するための時間や新型コロナウイルス第6波への対応などがあり、月平均42時間となったものと考えております。
- ・6月は、中学校総合体育大会の上位大会に向けた部活動や通知票の作成等に時間を要したことが月平均43時間になったものと考えております。
- ・第1回郡山市立学校教職員安全衛生推進会議を6月9日に実施した際に、長時間勤務の削減を含めた働き方改革について議論し、学校教職員安全衛生推進だよりにまとめて各学校に周知していたしました。
- ・10月と11月は、令和3年度と比較して長時間勤務時間が減少しました。働き方改革に対する教職員の意識が高まり、統合型校務支援システムを活用した勤務時間のセルフチェックや、ノー残業デー等の取組が定着してきた結果と考えられます。
- ・11月15日に第2回郡山市立学校教職員安全衛生推進会議を開催しました。校内衛生委員会の開催状況や長時間勤務の縮減に向けた各校の取組について協議を深め、学校教職員安全衛生推進だよりにまとめ、各学校に周知いたしました。
- ・12月は令和3年度と比較して長時間勤務が減少しましたが、1月と2月は40時間を下回っているものの、昨年度を上回る結果となりました。昨年度は制限がかかっていた部活動や卒業関連の学校行事等が、新型コロナウイルス感染症が落ちつきを見せたことで通常通り実施可能となったためと考えられます。
- ・1月24日に第3回郡山市立学校教職員安全衛生推進会議を開催しました。長時間勤務縮減の具体策や校内衛生委員会の活性化、教職員の負傷事故防止等について協議が深められました。協議された内容を学校教職員安全衛生推進だよりにまとめて各校に周知したところです。